

大学院 情報科学研究科 カリキュラム・ポリシー

(博士前期課程)

情報通信技術への社会的ニーズに応えるため、国際的に通用する高度な知識と創造的な能力に富み、また起業家精神をもった情報技術専門職業人を育成することを目標としてクォータ制のもと「情報基礎」、「情報専門」、「実習」、「研究」の各領域を設けてカリキュラムを編成する。

1. 「研究」領域では、「情報科学研究」として特定のテーマについて研究し、修士論文として発表できる能力を養う。
2. 研究科の特徴的な領域とし位置づけている「実習」では、「情報科学演習（学内）A/B/C/D」や「情報科学演習（海外）」、「インターンシップ」などの科目を通じた実習を行い、広い視野と実践的技術力を養う。
3. 社会的な課題に対してクラウド技術等を活用できる技術者育成を目指して、関西圏の他大学院とも連携したアクティブラーニング型教育により実践力と応用力を高める。